

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 マインドフルキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	シフト確定後も適切に日々確認している。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備などは、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか。	83%	17%	子どもが手に取れる位置に手すりを設置していますが2階に事業所があるため階段の上り下りが不便で危険と感じられる方もおられます。訓練室は棚で仕切り、視覚的に活動するスペースが分かりやすいように工夫している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃、及び子どもにあわせてそれぞれの活動に応じた空間づくりを都度行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%	0%	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか。	83%	17%	自己評価は会社HPと集計後に1か月間玄関に掲示致します。前年度分は堺市HPで確認していただけます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100%	0%	療育の資質をあげるため、常に事業所内外の研修を実施している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%	0%	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
	⑬	児童発達支援に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100%	0%	支援実施前には、担当職員全員で各利用児の重点支援を確認している。その日の支援内容、役割、子どもの情報共有をするための打ち合わせを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に振り返りを行い、次回の支援につなげるようにしている。全職員が共有出来るよう個々の支援ノートにセッションで気付いた事等を記載している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	33%	67%	サービス担当者会議未実施
	㉒	母子健康や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	67%	33%	基幹支援センターの方々と連携している。
	㉓	〈医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合〉地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係期間を連携した支援を行っているか。	0%	100%	対象児なし
	㉔	〈医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合〉子どもの主治医や協力機関と連絡体制を整えているか。	0%	100%	対象児なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっているか。	50%	50%	保育所訪問等や相談支援を通じて情報共有と相互理解を計っている。今後、家族支援として保護者への進級、進学支援も積極的に行っていきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっているか。	17%	83%	保護者からの依頼があれば積極的に行っていきたい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所の、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	100%	0%	系列事業所と連携している。堺市育成事業に申込み、3回/年訪問し助言を頂いている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	0%	100%	系列園での就園体験を行っている。
	㉙	〈自立支援〉協議会子ども会部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	日程が合わず参加出来なかったが、是非参加したい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	家族支援の面談でお伝えしている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	83%	17%	

保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0%	100%	要望があれば開催したい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	個別でライン送信している。インスタ、ブログで発信している。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	1回/月行っている
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者からの聞き取りシートにより対応している。アレルギーのある子どもが利用しない日でも安全確保の為、アレルギー反応のあるものは使用しないようにしている。(例:小麦粉粘土) 安全に配慮し教材を提供している。事前にアレルギーを含めたヒヤリングの確認をしている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	食事の提供はしていない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100%	0%	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	2回/年実施している
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	0%	身体拘束等の適正化の為の指針に基づいて行っている。